

交渉速報

J R 貨物労組中央本部業務部

2018年3月9日

No.12

会社：定期昇給は実施するがベアは実施しない
組合：会社の考えは到底受け入れられない。

～2018JR総連春闘 第4回交渉報告～

中央本部は本日10時40分より「第4回交渉」を行い、会社は現時点での考え方を以下の通り明らかにしました。

- ①2月に入り災害による運休が多く発生し収入目標を下回る状況である。年度末輸送で挽回をはかるべく努力するが、今年度の目標達成は非常に厳しい状況である。
- ②来年度は中期経営計画の2年目であると同時に、平成23年度から継続してきた経営自立計画の最終年度である。JR貨物が総合物流企業へ発展していくためには来年度も鉄道事業部門の黒字化とグループ全体で経常利益100億円の確保は必達目標である。
- ③貴組合からこれまでの努力と苦勞に対してベースアップで応えることをはじめとして様々な指摘をいただいた。会社としても社員が日々汗を流している認識をもっているが、来年度も鉄道事業部門の黒字化は必達であり、更なる努力が必要である。一方で今年度においてもこれまで福利厚生充実など、人に対する投資を行なっているところである。
- ④以上の事柄を会社として検討した結果、定期昇給4号俸は実施するが、ベースアップについては実施しない。諸要求については今後協議とする。以上が第4回交渉における会社の考えである。

中央本部は会社の回答に対し、以下の通り強く指摘しました。

- ①職場の現状に経営陣はもっと真摯にむき合うべきである。会社が示した考えでは人への投資は行わないと言っていることと同じであり、これまで苦勞し努力した社員は一切報われないということである。会社の考え方には怒りしか感じない。
- ②我々は今交渉においてベースアップ獲得にむけて、不退職の決意で臨むことを明らかにした。そのような中で本日示された考え方は到底受け入れることはできない。

組合の指摘に対して会社は「今日示した考えは第4回交渉における会社の考えであり、組合の指摘を含め、今後議論する」と回答しました。

会社は本日の交渉においてベースアップについて「実施しない」というこれまでにない強い表現でその意思を明らかにしました。このことは、職場で真面目に働く組合員のこれまでの努力や苦勞を無視するものであり到底受け入れられるものではありません。

本日以降山場の闘いに突入します。その中でも最大の取り組みである3月13日の統一職場集会においてベア獲得・要求の実現にむけて、それぞれの職場から切実な「声」を闘いに結集させましょう。

2018JR総連春闘の勝利にむけて、中央本部は職場で働く組合員の想いに応えるため、回答指定日にむけてその最先頭で奮闘していくことを決意し、第4回交渉報告とします。

次回交渉（回答指定日）は3月16日（金）です。

以上